

千葉労働運動

国鉄千葉動力車労働組合 千280 千葉市要町2番8号(動力車会館) 電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番 (公) 千葉 (22) 7207 番

1989.2.6/No. 2969

列車キロは増加・要員は削減 業務執行体制の見直し 2/2 提案

労務強化、要員削減阻止へ

当局は、動労千葉の強い要求にもとづき、二月二日、団交を行なった。しかし、提案は、B運用、作業ダイヤを出さないで要員の概要を説明するという全く不誠意な対応に終始した。すでに、「ダイ改」移行まで二ヶ月を切るという今日段階に至ってもなお団交ならざる交渉でお茶をにごそうとする当局に激しい怒りをこめ弾劾し、当局の基本的考え方を追求してきた。

業務執行体制の見直し

- (組) 具体的な作業内容が提示されなければ検討のしようがない。
- (当) 努力する。
- (組) 口先だけではないか。誠意が見られない。
- (当) 近いうち提示する。
- (組) 資料を一読するだけでも列車キロは増加しているにもかかわらず、要員を削減している。安全、運転保安か

箇所別要員提案

系統	箇所	関係職	標準数	記 事	減
	津田沼車	車 掌	326	乗務行路の見直しを行う。	
	習志野電	車 両	80	技管 16人体制→14人体制	△2
	幕張電	車 両	156	技管 20人体制→19人体制 信号 4テ → 3テ 1日 仕業検査10テ4日→8テ6日	△1 △1 △3
	千葉転	動 乗	171	乗務行路の見直しを行う 臨要員 9→10	
	勝浦転	動 乗	61	臨要員 1→0	△1
	館山転	動 乗	64	臨要員 1→0	△1

(組) 何をどう融合したのかさえ明らかにならず、ただ「出来る」では納得いかない。当局の団交に対する姿勢を激しく糾弾する。

(当) 技管の削減については各パートの融合化で効率を高めた。信号、仕業についても夜間の入換実態を見直した。

(組) 何もどう融合したのかさえ明らかにならず、ただ「出来る」では納得いかない。当局の団交に対する姿勢を激しく糾弾する。

以上、交渉経過の抜粋を見ただけでも当局の態度の不誠実さ、団交軽視がありありと表われている。

われわれは、怒りも新たにスト体制を強化し、当局の姿勢を正し、要員削減、労働強化を許さず、反合・運転保安確立をめざし闘いぬこう。

職場―支部からの反撃をつくりだそう。

天皇に戦争責任あり! (第3回労働学校 前回2968号のつづき)

「満州事変」に始まる十五年戦争は有史以来最大の犠牲者を出し、アジア人民二千万人が虐殺されたのだった。これらがすべてヒロヒトの命令・同意・合意によって強行されたのであった。

開戦は軍部の独断専行、終戦は天皇の『御聖断』なるヒロヒト平和主義者論は、ベテンである。

今日、「虫食いの」にしか公表されていない、侍従や重臣、側近たちの日記でさえ、ヒロヒトの戦争責任はヒロヒト有罪を証明するにあまりある。

イタリア・ドイツは降伏し、ムッソリーニは民衆のよって処刑され、ヒ

「六〇年代までは、戦争責任はヒロヒトと図式化されてきたが、七〇年代に入ると、責任の一端に日本人が入っているといふ考え方が出てきた。すなわち、日本人が「広島・長崎・沖縄」に被害者論だけで第二次大戦を語るの誤りであり、朝鮮・中国・アジア人民に対しては加害者としての立場に日本人民は立たされているということである。

「神格化」を否定された天皇が再興のために設定されたにすぎず、「戦災地の激励」ではいささかもなかったのである。なぜならば、天皇が最初に行くべきだった「沖繩に「行かなかつた」ことを見ても明らかである。

敗戦直後から行なわれたヒロヒトの巡幸は、「沖繩が基地の島としてあるのはヒロヒトの責任なのである。

「マッカーサーに命ごいをし、「沖繩をやるから天皇家を廃絶させないでほしい」と申し出、沖繩を売り渡したのだ。今日、

清算事業団闘争勝利!
2/3 ダイ改阻止・反合運転保安確立
2/5 総決起集会